

大阪体育大学における教育充実のための取組方針（抜粋）

大阪体育大学は、体育・スポーツ、健康福祉及び学校教育に関する科学の理論と技術を教授研究し、豊かな教養と広い見識を備える実践的、創造的な人材を育成し、国民の健康とスポーツ文化、社会福祉及び学校教育の向上に寄与することを目的とする。

以上の目的を達成するため、大阪体育大学における教育充実のための取組方針を次のように定める。

【体育学部】

1 教育の目標

「大阪体育大学の教育研究上の目的に関する規程」第3条を受けて、以下のとおり定める。

- (1) 豊かな教養を修める。
- (2) 専門的な知識・技能を修得する。
- (3) 調和のとれた人格を形成する。
- (4) 社会に貢献できる力を身につける。
- (5) 能動的・自立的行動力を身につける。

【教育学部】

1 教育の目標

教育学部では幅広い教養と教育に関する専門的な知識及び技能に基づき、未来を担う児童生徒の豊かな人間性、確かな学力、健やかな身体をはぐくみ、変化の激しい時代を生き抜く力を身につけさせることができる教員の養成を目標とし、以下のとおり定める。

- (1) 豊かな教養を修め、広い見識を持つ。
- (2) 教職に必要な基礎的・専門的知識と技能を身に付ける。
- (3) 児童生徒理解を踏まえた実践的な指導力を身に付ける。
- (4) 教育への熱意と使命感、責任感、学び続ける意欲を養う。
- (5) 豊かな人間性と社会性、論理観を養う。

【大学院スポーツ科学研究科】

1 教育の目標

高度なスポーツ科学の知識を持ち実践的な指導を行える専門家と、高度な専門知識に裏打ちされた斬新な研究を行う研究者を養成する。

博士前期課程は、学部における体育・スポーツの教育を基盤に、スポーツ科学の研究を通じて、体育教育や運動、スポーツによる健康づくり、生きがいくくり、スポーツマネジメント、スポーツ競技力の向上などに高度で専門的な知識・技術を身につけた高度専門職業人を養成する。

博士後期課程は、博士の学位を取得して、高度化する体育・スポーツ科学の発展に貢献できる研究者を養成する。